



第3期



まち・ひと・しごと

創生総合戦略 





I 基本的な考え方



1. 策定の趣旨

我が国は世界に類をみない急速なペースで人口減少・少子高齢化が進行しており、生産年齢人口の減少が、経済成長の制約になることが懸念されています。また、地方の過疎化や地域産業の衰退等が、経済全体の生産性及び賃金水準の低迷を引き起こしている深刻な課題となっています。

このような背景の中、本町においては、平成27（2015）年に和東町の人口の将来展望を示す「和東町人口ビジョン」における将来人口の実現に向けて「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「まちづくり、ひとづくり、しごとづくり」に取り組んできました。また令和3（2021）年には「和の郷 知の郷 茶源郷 和東」を将来像とする和東町第5次総合計画の基本構想に掲げる将来人口及び交流人口を見直すとともに、基本計画で示された内容の重点事業という位置づけで、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、第2期総合戦略）」を策定しました。

しかしながら、高齢化とともに人口減少に歯止めがかからない状況は依然として続いています。当面は人口・生産年齢人口が減少するという事態を正面から受け止めたうえで、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じること。そして、これまで10年間の地方創生の成果を継承・発展させつつ、直面する現実から目をそらすことなく、本町に生きる全ての主体の力を再び結集し、「強く」「豊か」で「選ばれる」町の実現に向けて取り組んでいくことが求められています。

本町では、第2期総合戦略に引き続き、和東町第5次総合計画の将来人口及び交流人口を見据え、新たな後期基本計画の重点事業の位置づけで、「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

2. 国が示す地方創生

国は、平成26（2014）年に「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、令和2（2020）年には「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、将来にわたって「活力ある日本社会」を維持するための取組を推進してきました。さらに令和4（2022）年12月には「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を閣議決定し、「デジタルの実装を通じ、地域の社会課題の解決を図り、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現」を目指してきました。

そして、令和7（2025）年12月には、これまでの人口減少抑制策を軸とした戦略ではなく、人口減少適応策にシフトした『地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～』を策定し、“強い経済” “豊かな生活環境” “選ばれる地方”を政策目標として掲げ、これまでの地方創生で進めてきた取組に加えて、地方が持つ伸び代をいかすことで、国民の暮らしと安全を守り、地方に活力を取り戻すことを目指しています。

(1) 根拠法

まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)

少子高齢化に的確に対応し、人口減少に歯止めをかける
 東京圏への過度の集中を是正する
 それぞれの地域において住みやすい環境を確保する

(2) 国の総合戦略政策の柱の変遷

地方創生 1.0 (2015 (H27) 年～)	抑制策 + 適応策	地方創生 2.0 (2025 (R7) 年～)	抑制策 + 適応策
<p>○総合戦略の4本柱</p> <p>人口減少を押しとどめる前提での施策展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地方に仕事をつくり、安心して働けるようにする 2. 地方への新しいひとの流れをつくる 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 4. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する 		<p>○基本構想政策パッケージの5本柱</p> <p>人口減少が進む中でも経済成長、地域社会を維持</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生 2. 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生 3. 人や企業の地方分散 4. 新時代のインフラ整備とAI・デジタル等の新技術の徹底活用 5. 広域リージョン連携 	

3. 和束町まち・ひと・しごと創生総合戦略の変遷

第2期和束町まち・ひと・しごと総合戦略
基本目標1 茶を軸とした働く場を創る
基本目標2 交流人口を増やし定住につなげる
基本目標3 若い世代が安心して結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本目標4 安心な暮らしを守り、交通インフラの強化により日常生活範囲の拡大を図る

国の「地方創生に関する総合戦略」を踏まえ
 現場で中心的に地方創生を担う主体として
 地域の特性を活かした取組を推進

和束町第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略

4. 施策体系

基本目標

1

選ばれる茶源郷

- 基本的方向1 和東町で始める「新しい暮らし」の支援
- 基本的方向2 和東の未来を育む子育てサポートプログラム
- 基本的方向3 郷土の学びで未来へつなぐ和東の教育
- 基本的方向4 地域を繋ぐ交通ネットワーク戦略

数値目標
2030年
(R12)

指標	目標値
空き家への転入世帯数（延べ世帯数）	24件 → 30件
教育に満足している住民の割合 （保護者アンケート）	小学校 97% → 97%以上 中学校 80% → 85%以上
子育てしやすいと感じる住民の割合	就学前 74.5% → 80%以上 小学生 77.3% → 80%以上

基本目標

2

価値を生み出す茶源郷

- 基本的方向1 茶産業のブランド化と人材戦略
- 基本的方向2 茶源郷の新たな魅力の創造

数値目標
2030年
(R12)

指標	目標値
荒茶生産量	1,224,178 kg → 1,225,000 kg
ふるさと納税 （企業版ふるさと納税含む）納付額	6,789千円 → 40,000千円
観光入込客数	188,332人 → 300,000人

基本目標

3

持続可能な茶源郷

- 基本的方向1 健やかな社会を築く支援の充実
- 基本的方向2 安心できる暮らしを支える和東づくり
- 基本的方向3 広域共創プロジェクト

数値目標
2030年
(R12)

指標	目標値
ずっと住みたい住民の割合	46.2% → 50.0%


II 具体施策の展開




基本目標1 選ばれる茶源郷

魅力的な茶畑景観と豊かな自然環境を基盤とし、新しい暮らし、充実した子育て・教育環境、そして利便性の高い交通ネットワークを整備することで、多様な世代・層から持続的に選ばれる「茶源郷和束」を確立していきます。

重要目標達成指標(担当課)

【空き家への転入世帯数(延べ世帯数)】(まちづくり応援課)

24件 → 30件

【教育に満足している住民の割合】(教育委員会)

小学校(97%)、中学校(80%) → 小学校(97%以上)、中学校(85%以上)

【子育てしやすいと感じる住民の割合】(保健福祉課)

就学前(74.5%) 小学生(77.3%) → 就学前(80%以上) 小学生(80%以上)

基本的方向1 和束町で始める「新しい暮らし」の支援

基本方針

規制緩和を含めた農業委員会等関係機関との連携により、空き家の活用等住宅供給の促進を図り、美しい茶畑景観と自然の中で暮らしたい方への和束町への移住・定住を促進します。さらにテレワークの需要拡大を受けて在宅で仕事ができるテレワークの環境づくりを推進します。

具体的施策

① 都市住民の二地域居住の促進

都市住民の和束町での二地域居住を促進し、関係人口の創出に取り組むとともに、東京圏からの移住を推進する。

所管部署：まちづくり応援課

KPI	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
二地域居住促進イベントの参加回数	回	5	8

② 移住・定住促進

移住希望者に対する相談や空き家改修費用の補助等を行う他、京都府宅地建物取引業協会と連携して空き家の掘り起こしに取り組むとともに、空き家の取引に専門人材が介入する空き家対策プラットフォームの構築等に向けての取組を進める。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
移住相談件数（延べ件数）	件	112	150
空き家への転入世帯数（延べ世帯数）	世帯	24	30

③ 子育て・三世代同居等応援住宅総合支援

移住・定住を促進するため、若い世帯の住宅購入・賃借に係る費用や、多子・多世代世帯が住宅をリフォームするための費用を支援する。

所管部署：まちづくり応援課

④ 空き家活用による新ビジネスの創生

企業のお試しサテライトオフィスやコワーキングスペースの利用促進、空き家のサテライトオフィスへの改修を支援し、和東スマートワークオフィスを拠点に専門家等と情報交換できるプラットフォームの構築を目指すとともに、体験交流センターも活用し、スタートアップを含めた企業に対する支援を行い、企業誘致を進める。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
和東町スマートワークオフィスの利用者数	人	461	550
企業誘致件数（延べ）	件	1	6

基本的方向2 和東の未来を育む子育てサポートプログラム

基本方針

和東町の強みを活かした児童生徒の医療費の無料化、自然環境での子育て等、子育て支援を推進し、安心して子どもを産み、育むことができるまちづくりに取り組みます。さらに子どもと保護者、子どもと高齢者等、様々な世代の交流・集いの場を創出し、ファミリー層にとって魅力的な、活気あるまちを目指します。

具体的施策

① 育児サポートの充実・拡大（未就園児家庭訪問）

まだ保育園に入所していない家庭に保育士が訪問し、育児相談等のサポートを行う。

所管部署：保育園

KPI	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
育児サポート人数	人	3	5

② 子どものあそび場と居場所づくりの推進

子どもが、家族や子ども同士で楽しく遊べる場所（ふるさとふれあい広場、児童公園、和東運動公園）や居場所（いきいきこども館）づくりを推進する。

所管部署：人権啓発課

KPI	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
子どものあそび場・居場所数	箇所	5	6

③ 延長保育事業の充実（働きやすい環境づくり）

保育時間の延長により、子育てをしながらでも働きやすい環境を整備する。

所管部署：保育園

KPI	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
保育時間の延長	時間	11	11

④ 子育てファミリーサポート支援

保健師、家庭推進保育士が子育て世帯への訪問活動を通じて相談、助言を行う。

所管部署：保健福祉課・保育園

KPI	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
保健師・家庭推進保育士訪問事業利用率	%	100	100

⑤ 子どもと保護者の集いの場づくり

乳幼児期の子育て真っ最中の家庭に寄り添う支援を行う。身近な所にみんなで学び体験等ができるような機会をつくり、活動を通して人とつながるネットワークづくりを進め、安心して子育てができる環境の充実に努める。

所管部署：人権啓発課 生涯学習課

KPI	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
子どもと家族の集いの場	人/年	135	150

⑥ ふれあいサロン等、子どもと高齢者がふれあう世代間交流事業

交流の場づくりから子どもたちの豊かな人間性や社会性を育み、高齢者は社会のつながりを実感し生きがいや活力を見いだすことにより心身の健康を持続する。

所管部署：保育園

⑦ 多子世帯等の子育て支援

保育料については完全無償化の継続に努める。

所管部署：保健福祉課

⑧ 子育て・地域応援給付金

和束町に定住し豊かな自然の中で、安心して子どもを産み、のびのびと育てることができるように、出産後も定住が確認できる子育て世帯を対象に、生活応援給付事業として20万茶源郷ポイントを付与し、子育て世帯と地域商店を応援する。

所管部署：保健福祉課

基本的方向3 郷土の学びで未来へつなぐ和束の教育

基本方針

地域の自然や人材、組織、小規模校の特性等を活かした魅力ある教育活動の展開、ふるさと学習、小中学校英語指導の充実等、保小中連携の一層の推進に取り組みます。(保育園でも小学校からの英語学習に子どもたちが速やかに適応できるように、英会話講師を雇用して日常から英語に親しむ環境づくりに取り組みます。) また、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な取組を進めます。

具体的施策

① 漢字検定、英語検定への支援

全学年が合格に向けて勉強に取り組み、明確な目標を持つことで、成功体験を得るモチベーションを上げ、学力向上へ繋げる取組を実施する。

所管部署：学校教育課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
漢字検定（3級以上の合格者割合）	%	23	40
英語検定（3級以上の合格者割合）	%	28	40

② 心を潤すお茶の時間事業

「お茶」を急須で淹れて味わう活動を通して、和束町の茶業・茶文化や和束茶の歴史を学び、ふるさとを誇りに思う児童生徒を育成する。

所管部署：学校教育課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
お茶の時間の授業回数	回/年	小学校 92 中学校 57	小学校 95 中学校 60

③ ふるさと歴史講座の充実

歴史文化を次世代に継承していけるよう、学習機会等の充実を図る。

所管部署：生涯学習課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
関連講座等への参加人数	人/年	23	70

④ 異文化交流事業

早期に英語に慣れ親しむことで国際的な視野や多様性への理解を深め、将来の選択肢を広げる。

所管部署：保育園

⑤ 社会の担い手として生きる力をはぐくむキャリア教育

高校や大学との連携により、近い将来像を描き学習意欲を高めるとともに、地域の企業や団体、家庭との学社連携の充実を図り、望ましい職業観や勤労観を身につけ、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を小・中一貫して育成し、社会に参画するための基盤となる力を醸成する。

所管部署：保育園 学校教育課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
キャリア教育の授業回数	回/年	小学校 70 中学校 81	小学校 75 中学校 85

基本的方向4 地域を繋ぐ交通ネットワーク戦略

基本方針

鷲峰山トンネル開通に伴う地域公共交通の充実や交通インフラの整備を推進し、町外との行き来に掛かる時間を軽減し、通学・通勤、買い物等における日常生活範囲の拡大を目指します。

具体的施策

① 鷲峰山トンネル開通に伴うバス路線の拡充

鷲峰山トンネルの開通に伴う新たなバス路線について、観光客を呼び込むイベントや住民利用につながる仕掛けづくりに取り組み、バス路線が拡充されるよう努める。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
新たなバス路線の利用拡大につながるイベント実施数	回	0	3

② 公共交通の維持と充実

奈良交通和東木津線の現行サービスの維持に努める他、公共交通空白地帯と路線バス停とをつなぐ地域乗合交通を充実させて、地域住民の足を確保する。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
「茶源郷乗合交通 WazCar」利用者数	人	2,029	3,000
町が運行支援する公共交通機関の利用者数	人	49,499	40,000

基本目標2 価値を生み出す茶源郷

「和東ファン」獲得に向けて、本町のお茶を通じた様々な魅力を最大限引き出し、五感で感じ、体験することで記憶にのこるまちづくりを進めます。また、鷲峰山トンネル開通によるメリットを活かし、新しい事業を展開しブランド化を促進するとともに、茶産業を軸に町内での雇用環境を整備し、訪れる場所だけでなく、働く場所としての価値を生み出す「茶源郷和東」を確立します。

重要目標達成指標(担当課)

【荒茶生産量】(建設農政課)

1,224,178kg → 1,225,000kg

【ふるさと納税(企業版ふるさと納税含む)納付額】(まちづくり応援課)

6,789 千円 → 40,000 千円(5年間累計)

【観光入込客数】(まちづくり応援課)

188,332 人 → 300,000 人

基本的方向1 茶産業のブランド化と人材戦略

基本方針

援農の取組、農業体験の受け入れ、農村民泊等、これまでの取組の継続を推進し、町内外の若者が茶に携わることのできる環境づくりをするとともに、茶産業+ONE（茶業を補填する新しい農業分野）の枠組みを確立し、年間を通して働ける環境整備により、U I J ターンの受け皿づくりと雇用の創出に取り組みます。

産官学の連携により、茶等の地場製品を活かした商品開発、現在の流通小売に耐えうる生産・加工・販売の仕組みを再構築するとともに、新たな設備投資への支援にも継続的に取り組みます。さらに、和東茶のブランディングを目指す企業の設立を支援し、また多様なニーズに応じた商品開発にも引き続き取り組みます。

具体的施策

① 農業次世代人材投資資金給付事業

新規就農者に対して、年間 150 万円を給付する。

所管部署：建設農政課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
新規就農者	人	2	3

② 地域雇用創出・人材確保支援事業

地域における雇用創出の拡大に向けて、農家や事業者が年間を通じて安定して人材が確保できるように、国、府、相楽東部地域と連携し、新たな体制の構築に向けて取り組む。

所管部署：建設農政課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
人材確保に向けた新規取組件数	件	0	2

③ 和東茶ブランド化・新商品開発支援、企業の設立支援

「和東茶」をブランディングし、知名度向上を目的に首都圏等の商談会や海外への販路拡大に向けた活動等を支援するとともに、その活動を担う人材の育成にも取り組む。

また、和東茶の生産から流通までを一体的に行う企業の設立も支援する。

所管部署：建設農政課 まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
新ブランド・新商品開発希望申請件数	件	84	100
海外販路開拓成約件数	件	4	6
和東茶のブランディング企業の新規設立数	社	1	2

④ 茶業振興対策

後継者の育成や業務の省力化等に対する支援を行う。

所管部署：建設農政課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
省力化機器等の導入支援数	件	4	6

⑤ 茶業担い手対策

後継者の不在や人手不足等による耕作放棄地の拡大等により、お茶産業が衰退するのを防ぐため、府の人材研修制度の活用や関係団体と連携した新規就農者の農地確保や家族経営者の人手確保を支援する制度の構築を行う。

所管部署：建設農政課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
新規就農者数	人	2	3

⑥ 茶源郷和束6次産業化による雇用創出支援

農業の6次産業化を目指し、地域事業者やU I J ターン希望者の就農等に関する相談やセミナーの開催、マッチング機会を創出する等、新たな雇用創出を支援する。

所管部署：建設農政課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
就農相談者数	人	0	3

基本的方向2 茶源郷の新たな魅力の創造

基本方針

茶摘み体験や農村民泊等、様々な農村里山文化体験の場を創出し、さらに和束町への訪問者数を増やすため、町内外の人が和束町のまちづくりについて話合う拠点環境づくりとその運営を支援します。

和束町の魅力を満喫できる場づくりや観光資源化を促進し、茶源郷まつり、自転車振興等の交流事業を発展的に継続し、「和束ファン」の獲得に向けて引き続き取り組みます。

具体的施策

① ふるさと納税寄付金積立

和束茶ブランドの商品開発を推進するとともに、様々な媒体を駆使したブランド力のPRを強化し、和束産の商品の知名度を向上させて、ふるさと納税（企業版ふるさと納税含む）による寄付額を増額させる。

所管部署：総務課 まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
ふるさと納税寄附金額（5年間累計）	百万円	14.9	20
企業版ふるさと納税寄附金額（5年累計）	百万円	0	20

② 観光案内所を核とした情報発信の強化

多言語対応や観光案内所を発着点とするグリーンスローモビリティの観光案内を実施する。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
グリーンスローモビリティ利用者数	人	454	550

③ 縁側プロジェクト事業

農家等の縁側提供や空き家の活用により、茶畑景観を和東町の新たな観光資源としてPRする。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
縁側カフェ利用者	人	2,823	3,300

④ マウンテンバイクランド活用促進事業

あらゆる世代が湯船森林公園を活用してマウンテンバイクを楽しめるように、環境や受け入れ体制を整備する。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
湯船マウンテンバイク利用者数	人	823	1,000

⑤ 地域ブランドの普及・育成

都市部での和東茶フェアの開催等により、茶業の振興と商工業の活性化、関係人口の増加に取り組む。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
和東茶フェア等で和東茶を振る舞った人数	人	600	1,200

⑥ 緑泉コース等茶畑散策道の整備とウォーキングイベントの開催

景観を活かした交流人口の拡大のため、茶畑散策道の管理等を行う。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
ウォーキングイベントの開催数	回	1	3

⑦ 「お茶の京都」の取組と連携した観光振興

京都府で推進する「お茶の京都」構想と連動した観光振興に取り組む。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
京都府と山城12市町村が一体となって取り組んだイベント等の回数	回	1	3

⑧ 茶源郷和東交流事業

「茶源郷まつり」等のイベントやスポーツと観光を組み合わせた事業を実施し、交流人口の拡大と地域活性化を図る。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
町内宿泊者数（延べ）	人	9,363	12,000
外国人宿泊者数（延べ）	人	1,787	2,200

⑨ 農・観連携コミュニティ創生事業

茶文化体験、農村体験、農泊等、地域資源を活かした観光コンテンツのブラッシュアップを重ねながら運用し、府内外近隣市町村との連携による持続可能なコミュニティビジネスを展開する。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
教育旅行者数（5年累計）	人	3,580	4,300
ツアー受入者数	人	11,497	14,000

⑩ 茶源郷・オープンエアミュージアム

特定地域づくり事業協同組合を軸に京都府等とのパートナーシップ協定を進めながら、令和6年度に定めた実施計画に基づき、和束町全体を博物館に見立てた観光のまちづくりを進める。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
地域人材雇用数	人	0	5

⑪ 観光ボランティアの育成

観光客に最大限の魅力発信をするための観光ボランティアの育成を推進する。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
観光ボランティアの育成数	人	1	3

⑫ 茶源郷和束PR大使による広報活動の強化

PR大使による和束町の広報活動の強化を図る。

所管部署：まちづくり応援課

⑬ 町の重要文化的景観の選定

「風景の国宝」と呼ばれている国選定の文化財「重要文化的景観」について、「原山・釜塚・白栖・石寺・撰原」地区の選定を目指す。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
重要文化的景観の選定地区数	地区	0	5

基本目標3 持続可能な茶源郷

住民が住み続けられる環境を維持するため、住民同士の支え合いを大切にし、人口規模に
適応した施設整備や高齢者等に向けた充実したサポート体制による安全で安心を生むまちづ
くりを進めます。また、町単独ではなく広域での連携も強化し、将来にわたって持続可能な
「茶源郷和束」を確立します。

重要目標達成指標(担当課)

【ずっと住み続けたい住民の割合】(まちづくり応援課)

46.2% → 50.0%

基本的方向1 健やかな社会を築く支援の充実

基本方針

公民館、公共施設を活用し、集いや交流の場となる身近な拠点としての整備を推進し、さ
らに多世代交流、多機能型施設として健康福祉交流センターの活用を図ります。町内
の買い物等に支援が必要な方への配達サービス等、引き続き、生活支援の充実に取り組みま
す。

具体的施策

① 身近な拠点（多世代交流・多機能型）の健康福祉交流センターの活用

交流施設や生活利便施設等を備えた多機能型・多世代交流型の身近な拠点施設として、
健康福祉交流センター（Cha nova）の活用を促進する。

所管部署：保健福祉課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
施設内の各所室の利用回数	回	-	240

② 高齢者見守りサポート事業

社会福祉協議会の地域包括支援センターと連携し、定期的な訪問により日常生活支援、相談、見守りを行う。

所管部署：保健福祉課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
見守りスタッフ数（高齢者 100 人あたり）	人	3	6

③ 高齢者介護予防等支援事業

外出支援サービスや軽度の生活援助サービスを行う。

所管部署：保健福祉課

基本的方向2 安心できる暮らしを支える和束づくり

基本方針

近年南海トラフ地震等により関心の高まりをみせる防災について、地域において住民が主体となり取り組めるよう、消防団や自主防災組織の充実強化に取り組みます。また住民の安心と健康を支えるため、検査の受診を啓発し、住民の健康意識の強化を図ります。さらなる安心のための川や山の環境保全を図り、鳥獣被害の減少、森林や道路・河川環境の保全等に努めます。

具体的施策

① 避難対策の強化

水害等避難行動タイムラインや防災マップを活用し、住民の防災・減災意識の向上を図る。

所管部署：総務課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
防災・減災研修実施回数	回	1	3

② 茶源郷ポイントの付与

ボランティア活動への参加やがん検診等の受診により、地域商店での買い物やWazCarの運賃に利用可能な地域ポイントを付与する。

所管部署：まちづくり応援課・保健福祉課

KPI	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
茶源郷ポイント利用率	%	89.1	95.0

③ 鳥獣被害総合対策事業

野生鳥獣の捕獲と侵入防止柵による農作物の防護を両立するため、資機材整備や地域と連携した追い払い等を行う。

所管部署：建設農政課

KPI	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
被害面積	a	約312	約254

④ 府道宇治木屋線の安全対策

府道宇治木屋線について、鷲峰山トンネルを通過する通行車両の速度を抑制させるため、警察や山城南土木事務所等の関係機関と連携しながら対策を進める。

所管部署：総務課・建設農政課

基本的方向3 広域共創プロジェクト

基本方針

京都府で推進する「お茶の京都」エリア構想と連動した観光振興にも取り組み、観光人口の増加を図ります。

具体的施策

① 近隣市町村等地域連携によるイベントの開催

近隣の町村と連携した広域のアウトドアスポーツイベントを開催する。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
近隣市町村とのスポーツイベント参加者数	人	210	250

② 京都やましろ地域と東京しがやとの連携

やましろ地域（12市町村）が連携した東京への茶文化発信を行う。

所管部署：まちづくり応援課

K P I	単位	基準値 (2024)	目標値 (2030)
やましろ地域と連携した茶文化を東京へ発信するイベントの開催数	回	0	1